

茨木障害フォーラム (IDF) 役員

役職	名前	所属	団体の活動目的	団体の活動内容
代表	宮林幸子	茨木市視覚障害者福祉協会	視覚障害者の自立と社会参加を実現するため、文化・教養、体育の向上を図ると共に、会員の友誼と親睦を深め、相互扶助を高めること。	目的を達成するために必要な事業を行うと共に、関係諸団体の行う事業にも積極的に参加し、視覚障害者の福祉の向上を図る。
副代表	下野三郎	茨木市身体障害者福祉協会	身体障害者の更正福祉を図ること	・身体障害者相互の生活向上とその親睦及び連携 ・官公署の身体障害者の更生福祉福祉政策に対する積極的な協力と具申
副代表	岡田鈴子	茨木市障害児（者）を守る・わかくさ会	あらゆる障害児（者）の教育と権利、生活を守り発展させる事を目的として、その為に必要な活動を行う。	・月一回定例会（わかくさ通信発行） ・施設見学 ・茨木市へ会員の要求をまとめ提出し交渉を行っている。 ・会員の親睦を深める為、年に一度の遠足、新成人を祝う為の新春のつどいを開いたり、歌声交流会に参加している。
副代表	栃本洋子	茨木市肢体不自由者父母の会	会員及び関係者団体との親睦及び啓発活動	定例会、役員会、広報紙作り、施設見学、親子レクなど
副代表	島田邦彦	茨木市聴力障害者協会	市内の聴力障害者相互の団結と親睦を図り、生活安定並びに社会福祉を増進させること。	・会員相互の連絡、親睦に関する事業 ・手話サークル「のぼら」との交流、連帯に関する諸事業 ・聴力障害者の福祉施策に関する事業
副代表	坂本悦子	地域・校区で「障害児・者」の生活と教育を保障しよう茨木市民の会	・障がい児・者本人主体の地域で共に生きる権利（教育、労働、生活）の保障を行政責任を明確にしながら市民と共に進める ・障がい児と健常児が共に生き共に学ぶ教育の場づくりを地域や学校と共に進める ・仲間、地域、他団体とのつながりを深める	・障がい者の社会参加のためのレクリエーション、イベント（サマニャブ、つながりまつり、忘年会） ・啓発、情報発信等の活動 ・住みやすい茨木市をつくっていくための行政交渉 ・各分野の取り組み（教育、労働、生活）
副代表	岩本賢三	茨木市原爆被害者の会	茨木市在住の広島・長崎の被爆者が相互に助けあって医療・生活・福祉・二世相談などの事業を実施、併せて核兵器廃絶の為の活動を展開する。	・被爆体験の語り部活動 ・会員の各種相談事業 ・福祉増進の為の社会参加事業 ・平和活動に関する事業
副代表	越智優子	茨木市精神障害者福祉協会「ぐるうぷすばる」	精神に障害のある人もない人も全ての人が、地域社会の中でふれ合い、分かち合い、自立し、生き生きと暮らすことができるよう活動を行う。	精神障害者への理解を深めるための啓発を目的とした研修会や、地域のひととの交流を目的としたレクリエーションの実施。
会計	前川琢也	社会福祉法人与よかわ福祉会	すべての人は心身障害の有無など一切の違いを越え、人らしく尊重されなければならないと考えます。そして、人権について十分な理解を持ち、「ともに生きる」姿勢で常に最高水準のサービスを提供し、活気ある福祉社会を創造します。	・障害者相談支援事業所 ・生活介護事業所 ・就労継続支援B型事業所 ・認知症対応型老人共同生活介護事業所
事務局長	六條友聡	地域・校区で「障害児・者」の生活と教育を保障しよう茨木市民の会	・障がい児・者本人主体の地域で共に生きる権利（教育、労働、生活）の保障を行政責任を明確にしながら市民と共に進める ・障がい児と健常児が共に生き共に学ぶ教育の場づくりを地域や学校と共に進める ・仲間、地域、他団体とのつながりを深める	・障がい者の社会参加のためのレクリエーション、イベント（サマニャブ、つながりまつり、忘年会） ・啓発、情報発信等の活動 ・住みやすい茨木市をつくっていくための行政交渉 ・各分野の取り組み（教育、労働、生活）
監査	村田敬吾	NPO 法人 自立生活センターほくせつ24	1日24時間365日介護を必要とする重度障害者が運営の中心になって、誰もが安心して生活できる地域づくりを進める。	・居宅介護サービス ・自立生活プログラム ・ピア・カウンセリング ・ヘルパー養成事業 ・啓発活動 ・全国自立生活センター協議会（JIL）等の会員としての活動 ・権利擁護、情報提供
監査	原田茂樹	社会福祉法人 茨木市社会福祉協議会	地域住民が住み慣れたまちで安心して暮らしていけるようボランティア活動を中心とした支援活動を進めます。	・地域福祉委員会による各種事業の支援 ・ボランティアセンター事業運営 ・障害関係ホームヘルパーガイドヘルパーの派遣